

http://www.e-meisei.net

# No. 74

■発行／(公社)愛知建築士会名古屋西支部

■編集／広報渉外委員会

名古屋市西区名西一丁目20番49号クラ設計内

TEL(052)908-0939 FAX(052)908-0836

■印刷所／株式会社 ウエルオン TEL(052)732-2227

# 名建築見学会

諏訪 秀明

5月15日(金)快晴の空のもと、構造設計者の集い主催の「名建築見学会」が開催されました。当日は総勢23人の方が集まり、岐阜県各務原市の2ヶ所の名建築を見学しました。

まず初めに見学した建物は、伊東豊雄氏設計の「瞑想の森 市営斎場」でした。この建物は市営斎場という厳かな用途の建築でありながら、曲面RCシェル構造を用いたのびやかな外観と、間接照明等を使用した神秘的な内観、建物正面の自然を建築内部に取り入れるような大型ガラスの外壁面によって瞑想の森の名にふさわしい、素晴らしい建築となっていました。特に待合室の曲面RCシェルの天井面から床面に渡って設置された、大型ガラス越しに見える、正面の池とそこに浮かぶ蓮の葉、その奥に見える森が、何とも言えない風景を映し出していました。

構造設計を担当されたのは佐々木睦朗氏で、柱は鋼管+RCで屋根の曲面と一体になっており、スパンはおよそ20m、屋根面RCシェルの厚みは200mmで複数の複雑な曲面で構成されており、とても軽快な建築物に感じました。

実際の現場施工においては多くの苦勞があったと思われませんが、日本の施工技術の高さにも感銘を受けました。

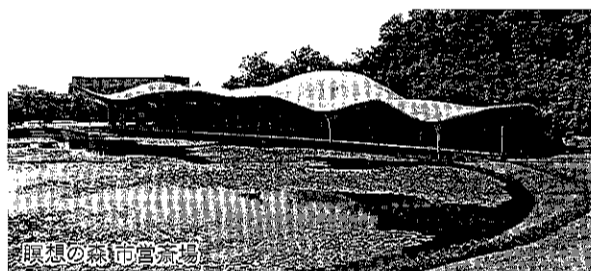
2つ目の建物はリチャード・ロジャース・パートナーシップ・ジャパン設計のテクノプラザ(岐阜県科学技術振興センター)でした。この建物は丘陵地の斜面に沿って立つ建物で、外観は上部から見るとUの字のような特徴的な形状をしています。(今回は上部からは見ることができませんでした、ドローンがあれば見れたのに！)

内部においてのデザインの見どころは、スリムなアーチ形状のプレキャストコンクリート梁が等間隔にテンボ良く並び、すっきりとした大空間を造り出していました。PC梁の両端は柱の柱頭にピン接合されたような形状をしており、特徴的な接合部になっていました。

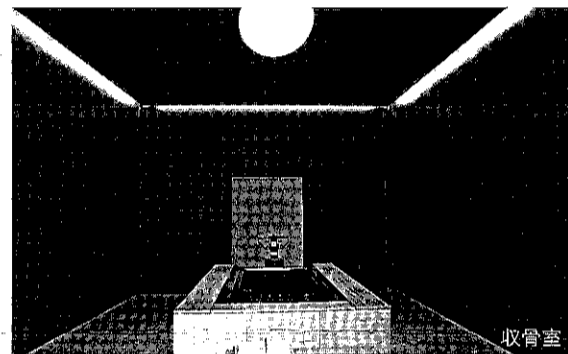
テクノプラザでは施設の方の案内で、建物についての色々な話を聞くことができました。その中でも特に印象的だった話が、排水設計が日本の大雨を想定しておらず、オーバーフローにより内部の所々で雨漏りが起きていることや、メンテナンスを行うにも人が入りづらい所があるなど日々の管理に大変苦勞されていることでした。建物を日々利用している人たちが末永く快適に使用できるように、後々の維持・管理のことを考えた設計の重要性を今一度、痛感しました。



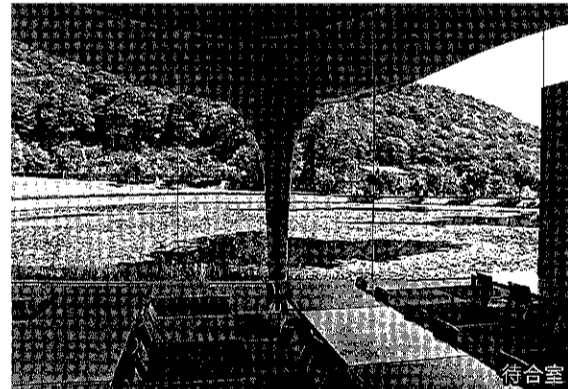
その後、皆様と昼食を取りながら親睦も深めることができ、とても充実した見学会となりました。



瞑想の森市営斎場



収骨室



待合室

## 新入生歓迎会

徳力 貞治

5月30日名駅三「撫餅人」で、平成27年度名古屋西支部新入会員歓迎会が行われ、18名の参加者となりました。そのうち新入会員の方が4名。新年会に来て以来の方が1名。最初は緊張した雰囲気も、自己紹介後は、会話も弾み楽しい会となりました。2次会にも支部長をはじめ10名の方が参加されました。私自身は久しぶりの支部の会への参加でしたが、みなさんと楽しく過ごせました。

他社の方や、他業種の先輩など、職場ではあまり接しない人との交流は、自分の経験値を増やす上で、とても大切だと思います。新しい発見は、新しい出会いと共に、自分の視野を広げてくれます。まだ参加していない会員の方には、ぜひとも参加していただきたいです。支部から案内が出ている懇親会や研修の案内も、ちょっとでも興味があれば参加してください。きっといい経験になります。かくいう私、最近忙しくてなかなか参加できず、申し訳ありません…。

若い人も、そうでない方も、参加大歓迎です。会社員の方でも大丈夫です。同じ会費を払うなら、参加しなくちゃ損ですよ。それに実務にも役に立ちます。わからないところを聞けたり、新しい情報が聞けたり、耐震補強工事について、いろいろと勉強になりました。

参加したことない方も、しばらく参加してない方も、待ってまますよー。



## 青年委員会活動予定

青年委員長 水野 志保

今年度の青年委員会の活動予定をお伝えします。まずは既に行われました、活動1) 5月30日に新入会者歓迎会を実施。4



和良おこし公民館

名の新入会員の方に参加して頂きました。活動2) 6月13日に親睦会1としてホテル狩りを実施。岐阜県郡上市和良町でゲンジ螢を鑑賞。生息場所が数ヶ所、広範囲で観測できピーク時の3・4割の数だとの説明でしたが数匹がふわふわ飛んでいるというイメージが覆されるほどの数でした。活動3) 8月8日に親睦会2、岐阜県郡上市和良町でバーベキューをします。道の駅に集合し、古民家を再生した「和良おこし公民館」でバーベキュー、希望の方は日本一の鮎を食べることができます。和良おこし公民館は囲炉裏スペース、薪ストーブスペース、オープンスペースが2部屋、キッチン、シャワーバスのある施設です。川遊び、オオサンショウウオウォッチングなどもできます。翌日は希望者の方は鮎の友釣りを体験。初めての方でも講師の方に教えてもらいながらなので大丈夫です。活動4) 9月中旬に「みずとびあ観月の夕べ」(輪投げ屋さんとして出店協力)。活動5) 11月中旬に川伊藤家清掃ボランティア。活動6) 2月頃に見学会(場所は検討中)を予定しています。気軽にご参加いただくと嬉しいです。

## 研修委員会活動予定

研修委員長 平手 公基

昨年度より引き続き、今年度も研修委員長を務めさせていただきます。宜しくお願い申し上げます。

活動予定は、第1回見学会として、9月12日(土)に中山道61番目の宿場、醒井宿を視察します。第2回見学会として、11月7日(土)に信州諏訪日帰りバスツアーの予定です。藤森照信建築群(神長官守矢史料館、高過庵、空飛ぶ泥舟)とシルクエンペラーと称された片倉財閥が遺した入浴施設、片倉館(国指定重要文化財)を巡ります。じっくり、ゆったりと、中世、近代の日本文化に触れる事ができればと思います。

第1回勉強会として、11月15日(日)に四間道にある川伊藤家を建築士限定で公開していただき、母屋の見学と「おむすびころりん大作戦」と称し、地域小学生を招き、主屋のかまどの説明、川伊藤家が江戸時代に新田開発に関わった港区南陽町で採れた新米を表蔵前庭にて炊き出し、おにぎりを作り、食べる、企画をしています。名古屋のまちの建築、都市計画、流通、食文化を楽しく、体験、学習します。第2回勉強会については目下、検討中です。

宜しくご検討の上、ご参加いただければ幸いです。

# 美濃路ウォッチング

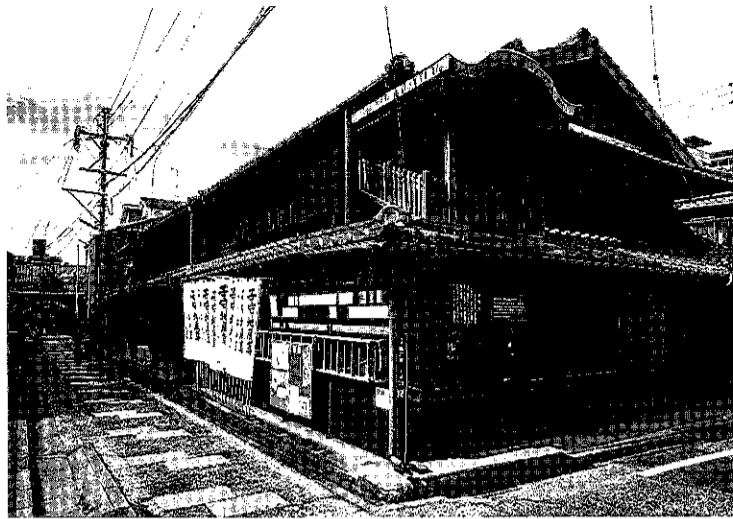
白井 鏡造

## ○四間道・那古野界隈まちづくり協議会

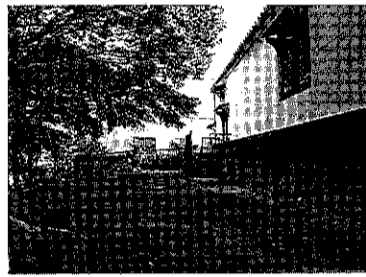
・五条橋親水空間「堀川広場整備工事」は5月に名古屋市西土木事務所から「広場整備のお知らせ」が地元配布されました。工事名は「広域河川堀川広場整備工事」。工事期間は平成27年6月中旬～9月下旬予定。難工事のため、「工期は遅れる見通し」と市の担当者が報告され、ようやく工事が始まりました。2年前、実施設計が始まったとき、「竣工時には地域でイベントを開催して盛り上げたい」と学区の方が楽しそうに話をされていました。

この工事は、美濃路まちづくり推進協議会が2007年、「西区五条橋詰ポケットパーク提案」として名古屋市に提案したものです。その後、地域各団体の推薦を経て、西区長提案となり、2013年度、実施設計へと進んだものです。ようやく今年度、実現することになりました。

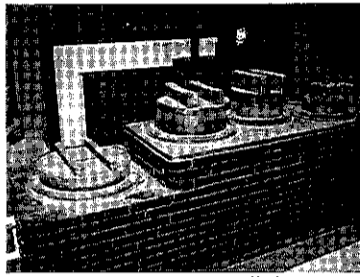
・4月21日(火)第30回協議会が開催され、前月協議会にて退任を表明された杉本会長から、新会長に(一社)愛知菓子会館監査役、福谷正男氏(豆腐商店代表取締役)が選任されました。会長職の空席は、会の活動に必要な助成金獲得のために、不利であることから、押しして就任していただきました。複層的な地域まちづくりのかじ取りよりしくお願いいたします。



調査予定の屋根神様のある長屋



表蔵中庭。左側は堀川



川伊藤家のかまど

諾も得ております。様々なアプローチでまちづくりを盛り上げます。7月4日、ヒヤリング審査があり、7月13日、助成団体に選考されました。

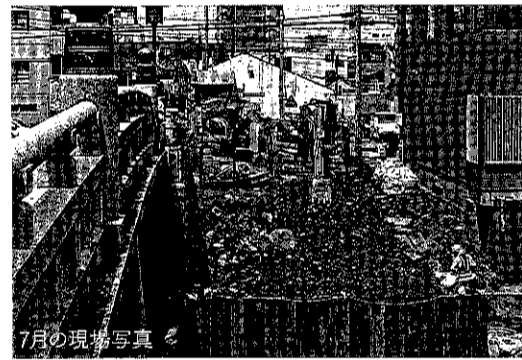
## ○清須越400年ネットワーク

・京町通り「茶屋町の伊藤屋」(のちの松坂屋)の史跡説明板設置へ1歩前進か?

上記説明板設置のためのプレゼン書類を作成し、関係者へ提出することとなりました。

・歴史見学会として「中山道鶴沼宿」を10月3日(土)開催予定。農村歌舞伎舞台「村国座」・脇本陣・大垣城城門・町屋館・菊川醸造などを見学します。

## ○美濃路まちづくり推進協議会



7月の現場写真

・(公社)日本建築士会連合会が実施する平成27年度「まちづくりに係る建築士会等と自治体との連携強化のための方策検討事業」助成申請に愛知建築士会名古屋西支部が応募。「四間道町並み保存地区」内にある「屋根神様のある長屋の調査と保存活用の提案」として申請。助成団体に選考!

この助成制度は、「自治体のまちづくりに積極的にかかわる方策を検討する建築士会(支部)に対し、連合会がその経費の一部を助成することにより、建築士会(支部)と自治体とのまちづくりに係る協定の締結、業務受託等の促進に資するとともに、地域社会の発展に寄与することを目的」とし、50万円を限度として助成されます。全国で10建築士会(支部)への助成を想定。選考結果が待たれます。

・平成27年度愛知地域貢献活動事業助成金交付決定!

四間道・那古野界隈まちづくり協議会は「おむすびころり大作戦」と名付けた事業で助成金申請をしました。「川伊藤家」の清掃活動を行い、自家の表蔵の中庭で、自家が開発した藤前新田のある南陽町の米を炊出し、おむすびを作るものです。「歴史的な建物・界隈を周知させるため、地元の小学生・建築専門家に参加を呼びかけ、食文化を通して歴史的価値を学ぶ場とする」ため、11月15日(日)に実施予定。名古屋を通じ、伊藤家当主の内



山車5両曳揃え

# みのじの館の引き継ぎ



高橋 秀明

こんにちは、たかはし設計の高橋秀明と申します。清須市西枇杷島町南六軒37にある「みのじの館」に、たかはし設計の新事務所として引っ越ししてきたのは4月の末頃でした。まだ引っ越しして不慣れた環境と慌ただしさの中、6月6日(土)7日(日)に「みのじの館」での大行事、「尾張西枇杷島まつり」がありました。その際に「みのじの館」前館長の渥美大作さんと引き継ぎをさせて頂きました。愛知建築士会名古屋西支部の皆様方が見守る中、館長引継ぎの握手を渥美さんと交わした瞬間、今までの「みのじの館」歴代館長の責任という重みを感じました。ご近所の方々に前の館長さんの方が良かったと言われたい様にはいたしません。

私、高橋秀明の出身は高知県です。高校野球をしていた経験から以前建築士会のソフトボール大会にお邪魔していましたので私の事を覚えて頂いている方も何人かいらっしゃいました。皆様変わらずお元気で何よりです。

弊社は主に木造住宅の設計監理をしております。その木造住宅の中でも「板倉構法」の『板倉の家』という住宅を手掛けております。『板倉の家』は準防火地域での防火構造の認定も取得していますので新しい町屋の形が出来そうに思います。当事務所に『板倉の家』の断面等簡単な模型がありますのでご興味がある方は当社にご連絡ください。今後とも「みのじの館」とたかはし設計を宜しくお願い致します。



高橋さん 渥美さん

## 支部総会の報告

### 平成27年度 通常総会

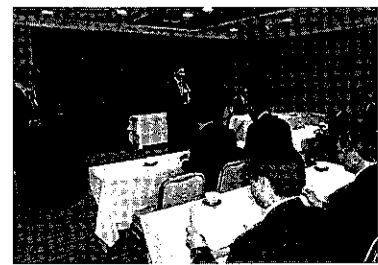
遠藤 昭子

去る4月22日 ホテルサンルートプラザ名古屋にて平成27年度名古屋西支部通常総会が行われました。愛知建築士会廣瀬会長を来賓で迎え、参加者27名、委任状67名の計94名。1/3以上の定足数で、総会は成立されました。

岡島支部長の挨拶の中では、当支部の活発な活動が評価されている事、特に会報「めいせい」の発行については、各支部継続事業のうち表彰候補に推薦され、建築展建築士デーにて賞状贈呈の予定だというお話を頂きました。

続いて廣瀬会長のご挨拶があり、本会活動の支援のお礼の言葉を頂戴いたしました。今年度より、事務局が昭和ビルから名古屋市商工会議所ビルに移り、会議室も3室に増えるのでますます積極的な活用ができるようです。議長には伊藤氏が選出され、1号議案で前年度の事業報告、2号議案では今年度の事業計画案を発表し、皆様のご承認を頂くことができました。

総会後の懇親会では浦野三男先生の乾杯を皮切りに今後発展していく名古屋地区の話など、未来への展望などを皆で懇談し楽しいひと時となりました。



# 鈴鹿烏帽子岳山歩き

恒成 秀洋

ご近所に住んでおられる山田正博さんのお誘いで、5月10日、愛知建築士会名古屋西支部の「めいせい山歩会」の山行にご一緒させていただくことになりました。

私が勤務する中部経済新聞社は愛知建築士会さんと共催で「建築総合展」を毎年開催しています。その関係で山田さんを以前から存じ上げていたことから、今回のお誘いとなったわけでありました。

さて、今回の目的地は、鈴鹿山系の最北部にある烏帽子岳。標高は865m。高い山ではありませんが、登山口からの標高差は500m以上あり、決して侮れない山であります。

朝、7時過ぎ、名神高速の養老SAに全員が集合。名古屋西支部の白井鎌造さん、岡田巖さん、山田さんのほか、元会員の倉地嶺弘さん、ウェルオンの後藤高男さん、そして私の6人。白井さんと倉地さんは良く山に登っておられるようですが、そのほかの人は、話を聞く限り、めいせい山歩会の年2回の山行のみ、いやそれすら最近は、という方ばかりのようでした。

8時、登山口に到着。それぞれが何となく柔軟体操などをしながら準備し、いざ登山開始。見事な晴天のもと、ハイキングのように田園地帯を足取り軽く歩き始めました。15分も歩くとすぐに登りが始まりました。最初は何とか隊列を保持していましたが、標高500mを超えた第2展望台あたりから山田さんの足取りが怪しくなり始めました。山田さんは最初、「やはり運動不足だなあ」と反省しきりでしたが、あまりにつらくなってきたのか、最後の方は「もう山登りなんかやらない」と憤怒されておられました。

上石津町の街並みや中里ダムなどの景色を楽しみながら、休憩を重ねて登り続け、登山開始から約2時間後の午



前10時過ぎ、烏帽子岳山頂に。10m四方ほどの山頂からは、南に御池岳から藤原岳にかけての稜線が望めました。

昼食後、白井さんがシャクナゲを見に行く、というので私もついて行き、山頂から反対側に5分ほど降りてみたところで散り果てのシャクナゲのわずかな残りを見ることができました。

さて下り。これが結構足に来てつらいのですが、私と一緒に先頭を歩いた岡田さんのペースの速さは驚異的でした。まさに「飛ぶように降りる」という感じです。さらに驚かされたのは、その反射神経とリカバリー能力。岡田さんは時々、足を滑らせて転びそうになるのですが、瞬時に体制を立て直し、さも何もなかったようにスピードを維持する。とても御年60ウン歳とは思えない、驚きの運動能力でした。

12時過ぎ、ようやく駐車場に。低山ながら本当に登りがいのある山でした。帰途、喫茶店で休憩し、解散しました。天気にも恵まれ、楽しい1日となりました。

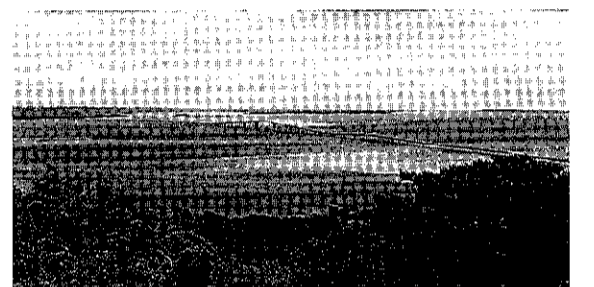


# 秘密の場所

伊藤 翔

名古屋から約1600km離れた所に、沖縄県の宮古島という離島があり、飛行機で名古屋から那覇、那覇から宮古島という移動手段です。私が宮古島に毎年行くようになってから10年が経ちました。アクティブではない私が何故に遠く離れた宮古島にということなのですが、妻の実家が宮古島との理由で行くようになりました。初めて訪れた時は美しい海、東洋といわれる砂浜、星空の美しさ、サトウキビのざわわ〜に感動し、現在でも訪れるたびに、楽しいながらもストレスが溜まる生活の癒しなっています。また人混みが苦手な人間としては、観光地の割に観光客がそれほど多くないのが最高です。

さて、宮古島と言えば美しい海なのですが、他にもお酒が有名です。お酒といえば泡盛となるわけですが、宮古島には「おとおり」という飲み方、独特なコミュニケーションがあります。宴会でわいわい飲んでいても、「おとおり回します」の一言で周囲は静かになり、その伝統文化は始まります。最初に「おとおり回します」と挨拶をした人は親となり、口上を述べます。口上の内容は自由で、宴会の主旨、お礼な



どです。口上が終わると自分のグラスの酒を飲み干し、次に宴会に参加している一人一人全員に、酒とグラスを持って回っていきます。回って行った先で親は軽い挨拶をし、空いたグラスに酒を入れて相手に飲んでもらいます。相手は飲み干したグラスに酒を入れ、親に飲んでもらいます。この行為を繰り返し、一周したら親を交代し、また同じ事が始まります。親は1回とは限らないので宴会が終了するまで長時間続きます。これだけ聞くとお酒が弱い人には地獄かと思いますが、飲めない人はお茶でもジュースでも問題なく、またこっそり抜け出すことも問題無しとされています。

# 私のおすすめ

山田 純也

はじめまして！今年から建築士会・名古屋西支部に入会しました山田純也といいます。よろしく願います。

今回は「私のおすすめ」記事と言う事で、僕がおすすめしたいのは「クラシック音楽」です。クラシックと聴くと、固いイメージを持つ方も多いかもかもしれませんが、朝、満員の通勤電車の中で聴くと元気が出るので僕の中では無くてはならない物になっています。

僕の好きな作曲家は、モーツァルト、ベートーベン、ショパン、チャイコフスキー、ブラームス、ワーグナー、マーラー等になりますが、それでは私のおすすめする、クラシック元気の出る曲をピックアップしたいと思います。

- ベートーベン 交響曲第5番『運命』  
ジャジャジャーン有名ですね。
- ワーグナー 『マイスタージンガー』  
これも大変、意気揚々となる曲です。
- R・シュトラウス 『ツアラトゥストラはかく語りき』  
2001年宇宙の旅などに使われて有名です。

ちなみに今僕が一番好きな曲はグスタフ・マーラーの交響曲第5番第4楽章のアダージェットです。とても甘美なメロディーで聴いていて癒されます。最近はyoutube等でも簡単に曲を聴けます。みなさんも自分の好きな曲を探してみたいかがでしょうか？



# 新入会員の抱負

橋本 幸恵

この度、名古屋西支部に入会させて頂きました、橋本幸恵と申します。以前は静岡のゼネコンにてマンション、医療施設、工場等の意匠設計の仕事をしておりましたが、元々興味のありました空間デザインの業務がしたいと思い、商業施設設計をメインとしている名古屋の会社へ転職しました。

建築知識の向上と情報交換の交流をさせて頂きたいと思い入会に至りました。現在は、内装メインの業務が多く、建築士としてはまだまだ経験が浅い為、仕事以外の時間を有効に活用していきたいと思いましたが、時代と共に変化する需要と、法改正について、常にアンテナを張らなければ成り立たない職種である為、視野が狭くならない様、先輩方の意見やアドバイス等伺う機会を設けて頂き、大変有難く存じます。

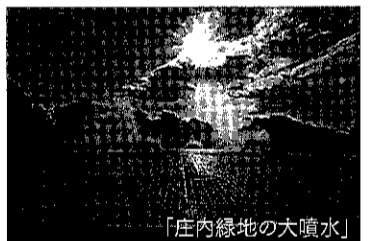
名古屋で生活を初めて約2年経ちますが、休日は良く自転車ですり内を巡ります。気になるカフェを見つけたらふらっと立ち寄り、欲しい観葉植物を模索したり、普段通らない路地裏で新鮮野菜を売っている八百屋を見つけたりと、何気ない日常の中で小さな発見があることに喜びを感じます。仕事で目まぐるしい時間の流れに慣れてしまうのではなく、たまには遠回りする時間の余裕を大切に、結果として仕事に繋がる何かを発見することを期待して今日も出掛けたいと思います。

まだまだ行動範囲も狭く、視野も狭いですが、可能な限り名古屋西支部の活動の場に参加させて頂きたいと思っておりますので、今後とも宜しくお願い致します。



# まちなみセレクション

西支部所属の相澤勉さんの写真が第2回名古屋まちなみデザインセレクションでまちなみデザイン20選に選ばれました。



# 新入会員の紹介

地区	氏名	生年	自宅住所
中村	梅本 昌尚	S51	〒464-0017 名古屋市千種区鶴屋上野字汁谷3520番地の1 グランドメゾン自由が丘テラス2-304
北名古屋	社本 広司	S30	〒481-0006 北名古屋市熊之庄屋形3301
中村	神藤 敦子	S36	〒453-0068 名古屋市中村区菊水町1-1-32
西	野田 拓美	S56	〒451-0025 名古屋西区上名古屋3-15-17 301号
西	橋本 幸恵	S60	〒452-0062 名古屋西区花の木1-4-16 カーサフィオーレ浅間町101
東	山田 純也	S57	〒453-0016 名古屋市中村区竹橋町20-12 セザール名古屋602号
西	今村 悠太	S61	〒454-0912 名古屋市中川区野田2-428 NKビル野田302号

国土交通省大臣認定 建築技術性能証明

**SMD杭** スーパーミニドリル

**DM工法** SMD杭工法シリーズ

**HITSコラム** スラリースリット掘削工法 現場混合処理工法

造園 外構工事・公共工事 地盤調査・地盤改良 SMD杭製造・販売 石材加工・販売

株式会社 本陣

〒461-0048 名古屋市中区栄三丁目13番7号  
TEL: 052-722-3000 FAX: 052-722-8311  
E-mail: info@honjin.co URL: http://www.honjin.co

**住宅リフォーム・リニューアル工事、耐震補強工事**  
集合住宅・ビル・マンション・一般住宅・倉庫・工場・営業店舗

豊かな環境を創造する

株式会社 **ムラテ**

テレビ愛知 毎週土曜 PM7:00~7:54 「探Q!Aトリップ」CM提供中  
URL: http://www.murate.com/

〒453-0861 名古屋市中村区岩塚本通1-51 TEL052-411-8111 FAX052-413-1036  
津島(営) TEL 0567-31-0780 名岐(営) TEL052-400-1291

# 2×4構法住宅が強震に耐えて被害がほとんどなし！ 以後はメンテナンスが重要

解説 馬場 富雄

昭和50年代後半アメリカ、カナダが原木の輸出をやめて、2×4部材関連の既製材の輸出に切り替えたため、日本でも2×4部材で住宅を建てる必要にせまられた。

わが国では2×4部材で家を造る経験は、全くなかったため、アメリカから大工さんを招聘して住宅を造ってもらい、日本の大工さんがこれを見学するというイベントが名古屋でも行われた。

2×4構法とは一言でいうと釘打ち工法によって家を建てることをいう。つまり、通常の住宅一軒で、釘が4万本から5万本必要だと言われている。釘1本の摩擦抵抗は、たいした値ではないが、何百本という群でくると、ものすごい抵抗力を発揮するのである。

日本の大工さんは従来から木材の継ぎ手、仕口の加工の仕事が主であり、ノコギリ、ノミ、カンナが重要な道具であるが、アメリカではそんな仕事はなく、すべてトン付け、釘打ちであり、それが日本の住宅建築にも徐々に入ってくるようになった。

私も工事現場の見学に行き、働いている大工さんが皆、携帯用の電動ノコギリを持っているだけで、また釘打ちには殆どピストル式機械で行うのを見た。作業は軍隊式で隊長が一人いて作業全体を見守っている。「休憩」、「作業開始」も隊長の命令ひとつで始まる。そのどちらの場合も隊長が時計とらめっこしている。現場は実にきびきびしていて、仕事をさぼっている人はいない。見学した日本人の大工さんも、このような異文化に接しておおいに参考になったことと思う。

## 2×4構法の施工トラブル

かつて、愛知県内の某所に2×4構法の住宅が2軒並んで建てられた。(それぞれ施工者は別)そこへ中型の台風が襲ってきた時、一軒は被害がなかったが、もう一軒は屋根が全部吹き飛んでしまった。被害を出した方の施工者の説明は「台風には「風の道」というものがある、丁度その道がこの家の中心を通ったため、屋根が飛んでしまったのです。隣の家は、その道からはずれていたので無事でした!.....?.....この「風の道」説に納得のいかない建築主は愛知県を通り越して建設省へ直訴した。建設省も放って置かず「とりあえず担当官を派遣しますから、愛知県と名古屋は立ち会ってください」との指示があった。屋根が飛んだ理由を明快に説明する

2×4構法住宅は被害なし  
隣の在来工法住宅は全壊



のは難しいなと思いつつ現地に行き、その現場を見て瞬間「アツと驚く為五郎!」でした。つまり屋根を止める釘打ちの数が全然足りないのである。「仕様書通りに釘を打つのは、めんどくさいし、時間もかかるので所々止めておけばそれでいいだろう」という安易な気持ちでこうなったのではないかと。技術者としての基本理念を欠くと、時には人命を奪うかもしれず恐ろしいことである。結局工事監理の不備ということで、建設省の大目玉をもらってこの件は落ち着いた。

## 阪神淡路大震災と2×4構法

阪神淡路大震災が発生した平成7年の頃はこの地方にも若干の2×4構法の住宅が建てられていた。そこへ強震が襲ったのである。そして多くの在来工法の家が倒壊する中2×4構法の住宅は強震に対する抵抗力がすばらしく、被害が殆どなかったのである。写真はその一例である(2×4構法の家は建て方に異状は起きていない。一方、隣の在来工法の住宅は全壊している)。この提示した写真を撮ったあと、他の場所でもう一軒2×4構法の住宅を見つけたが、その家は隣の在来工法の家が倒れ掛かっている。「はっし!」とそれを受け止めていて「びっし!」と建っているのである。つまり、2×4構法の住宅には数トンの横力が掛かっていると思われるが、びくともせずにこれを受け止めているのである。ただし、家と家とがぶつかった場所は、かなり壊れていた。私が神戸を訪ねたのは震災の1ヵ月後で、当時の状況を聞くため、2×4構法の住宅を訪ねると、丁度その家のご主人がおられて次のように話された。

「私は、我家が隣家の方々の命を守ったことを誇りに思います。隣の家が倒れかけてぶつかってきても、びくともしませんでした。」そして、天井からブラを下げて建て方が狂っていないことを自慢された。また、「隣家がぶつかった場所は少々壊れましたが、そんなことは些細なことですよ」とも言われ、そのおおらかな考え方には、脱帽しました。

## 2×4構造法のPRについて

先日、或る方が或る建築士に2×4構法について尋ねたところ、「あんな構造はだめですよ」とずばり否定されたとのこと、又聞きで詳しいことは分からないが、そういう感情的な返事の仕方はまさに横着者である。少なくとも阪神淡路大震災の強震に耐えた事実を先ずもって伝えるべきである。そして、その釘打ちの摩擦力が、20年、30年と経過しても変化がないか?これは実際に経過してみないと分からない。ただし、雨漏り防止のメンテナンスはとても重要(木材が雨漏りで腐蝕すれば釘の摩擦力は劣化)である。これらのことを建築主にきちんと伝えるべきである。

### [問題]

2×4とはある単位で、部材断面のタテ、ヨコを測った数値のことであり断面形を表しているが、その単位は次のうち、どれか。

- 1.センチメートル 2.フィート 3.インチ 4.寸

CPD単位認定1単位



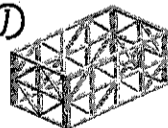
三木 大樹

盛夏、ムシムシしますね。ムシと言えば…昆虫たちが元気に活動する季節になってきました。遅い帰宅途中、街灯の光にひかれた蛾やカナブン、コガネムシを見かけます。我家には、娘が小学校で捕まえた「ヤゴ」と「カタツムリ」、義父が孫の為に買った「ノコギリクワガタ」の三種類の虫籠があります。子供さんのいるお家では、かなりの確率で、何かしら虫を飼ってみるのではないのでしょうか。

スーパーやホームセンターなどではパック詰めされたカブトムシやクワガタが所狭しと、並んでいます。しかし、カブトムシや鈴虫などの昆虫を飼うという文化は、日本以外では珍しいとのこと。深夜、静かな部屋に、ガサゴソと物音がして、少しドッキとしますが、しばらく耳をすましていると彼らの気配に、夜の心細さが少し癒されているように感じます。

## 「構造設計者の集い」の活動予定

江口 眞樹



「構造設計者の集い」も早や7年目を迎え、今年4月の勉強会で50回目を数えました。

現在、会員は12名で、鉄骨造・鉄筋コンクリート造の構造設計について、勉強や情報交換を行っています。適合性判定の制度が6月から変更になりましたし、今年7月には、8年ぶりに構造関係の技術基準が改定されたので、一層この「集い」の役割も増すものと思います。

今後の活動予定は、年に10回程度の勉強会を主とし、構造設計者以外にも参加していただける見学会または講習会を随時開催します。今年5月には、伊東豊雄氏の作品などの見学会を行い、多数参加していただ

きました。5~6月は見学会・講習会日照りとなる時期なので、その頃の開催を考えています。

「構造設計者の集い」は西支部以外の方のみならず、建築士会会員の紹介であればどなたでも入会できます。ご参加をお待ちします。

## 編集後記

牧野 正

最近、正座をしていて後ろを振り返った瞬間、腰を痛めてしまいました。その後1ヶ月程コルセットを巻き、腰をかばいながら生活をしました。腰は体の「要」と言いますが、痛めるとその事が身に染みてわかります。長時間椅子に座り図面を描く事が多いので、普段から腰に負担がかかっているようです。体を支えてくれる要の腰を、もっと労わりつつ鍛えなければ、と思った出来事でした。

Total Media Support

WELL ON 株式会社 ウェルオン

〒460-0007 名古屋市中区新栄三丁目21番31号  
TEL 052-732-2227 FAX 052-733-3178  
URL <http://www.well-on.co.jp/>



愛知県 合格者占有率 **No.1** 平成26年度 1級建築士 設計製図試験

愛知県合格者占有率 愛知県の合格者のおよそ3人に2人は、**65.3%** 当学院の現役受講生でした。

愛知県合格者216名中、141名が当学院受講生

1級・2級建築士  
1級・2級建築施工管理技士  
1級土木施工管理技士  
宅地建物取引主任者  
インテリアコーディネーター

**総合資格学院** 名古屋 TEL.052-202-1751  
〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦1-2-22 中部資格ビル 1F